

日 田 商 工 会 議 所

商工会館建設特別委員会記録

1. 日 時 令和 7年 6月17日 (火) 9時

2. 場 所 日田商工会館 4階 議員サロン

3. 出席者名 (委員 長) 瀬戸亨一郎
(副委員長) 佐々木美徳

(委 員) 河津 龍治、小ヶ内聡行、園田 匠、小野 智宏、宇野 弘士、
佐竹 邦恵、佐藤 雅宏

(会 頭) 十時 康裕

(専務理事) 樋口 恒成

(事 務 局) 伊藤 宏、大石 昭典、春口 国博

4. 議題

1. 視察 (兵庫県・高砂商工会議所) 報告

2. 商工会館建設答申(案)について

- ・ 商工会館の建設場所
- ・ 商工会館の建設規模 (広さ等)
- ・ 商工会館の建築内容

3. テナントに対する意向調査(案)について

4. 今後の商工会館建設特別委員会のスケジュール(案)

5. 会議概要

定刻となり、伊藤事務局長より開会を告げ、冒頭に瀬戸委員長より開会に際してのあいさつが述べられる。先日は、議員研修の一環として高砂商工会議所の現状を視察してきたが、当所としても今月の議員総会で現状を報告のうえ、会頭へ答申を行い、議員の皆様の了解を頂きながら、着実に建設に向けて進めていきたいと考えているところである。本日は、次の議員総会における答申(案)についてご協議頂きたい。

議題1. 視察 (兵庫県・高砂商工会議所) 報告 上程。樋口専務理事より資料に基づき高砂商工会議所の会館建替えについて、報告を行う。

議題2. 商工会館建設答申(案)について専務理事より資料に基づき答申(案)の説明を行う。建設場所は現在地、規模は現状よりもコンパクトに、といった説明に加え、現状の資金手当ての見込みに関しても説明がある。専務理事の説明終了後、瀬戸委員長より、補足的に話しがある。見通しとしては、今年度は基本設計に注力し、次年度に建設に取り掛かるくら

いのスケジュール感を描いており、再来年度末くらいに竣工できれば、と考えているところである。詳細に関しては今後更に検討する必要があるが、議員総会にて会頭へ答申を行い、議員の皆様のご理解を得て、前に進めていきたいと考えている。また、加えて専務理事より、各行政機関における活用可能な補助金について資料に基づき説明が行われる。委員長より飯能商工会議所を視察した事もあり、木材利用を想定して調査したこともあり、木材活用に関連する補助金ばかり提示しているが、今後視野を広げて活用可能な補助金のリサーチを続けていく予定である、との話があり、続けて議題3. テナントに対する意向調査(案)上程。専務理事より、テナントへのアンケート調査票の叩き台について説明が行われる。議長より、これまでの内容について、意見・質問等募る。

(十時會頭) 高砂商工会議所を視察して感じた事だが、新会館には十分な公共性を持たせ、イベント等に様々に活用でき、使い易く入り易い建物にして頂きたいと考えている。

(瀬戸委員長) 隣接地である三本松公民館は、近いうちに着工し、来年度には供用開始の計画と聞いているが、お互いにとってメリットのある建替えができれば、と考えている。

(佐々木副委員長) 高砂会議所は寄付を1億円集める計画のようだが、議員事業所が100社ということは、1社平均100万円の寄付をお願いしているのだろうか。

(樋口専務) 正副会頭をはじめとする議員事業所で4,500万円、他に10社程の大手進出企業で5,000万円、その他の会員事業所等で500万円を想定しているとの話であり、既に7千万円程度は寄付金が集まっている、との話であった。

(瀬戸委員長) 幸い、高砂会議所に比べ当所の方が積立金は潤沢にあるため、可能な限り会員・議員に負担がかからない形で事業を進めたい、と考えている。

(小ヶ内委員) 寄付金控除が受けられるような形式にした方が企業としては支出がし易いと考える。

(十時會頭) 木造関連以外の補助金も十分調査しないといけない。

(河津委員) 木造での建設となると、コストが相当高くなる。材料を揃えたり、乾燥させたりする期間を考慮すると、再来年度の完成は困難であろう。また、木造にした場合、構造上の問題で大きな窓は不可能であり、採光が難しくなる。また、エレベーターの設置も難しくなる事を考慮すると、鉄筋コンクリートで建設し、内装に木材を多用する案が現実的ではないだろうか。

(宇野委員) 設計に関しては、プロポーザルにするか、コンペにするか、今後検討が必要だが、市や県の補助金活用を視野に入れている場合は、プロポーザルかコンペのどちらかで業者選定をしておかないと、後々面倒な事になる。一社との随意契約にした場合は、相当面倒な業者選定に係る理由書の提出を求められたりするケースがあるようだ。設計を生業とする議員として本委員会の委員に選定頂いていると認識しているが、仮に当社が本事業の設計を受けた場合、一般会員事業所の方には不公平感が生じるのではないだろうか。業者選定は慎重に行って頂きたい。

(河津委員) テナントには、建替えに際し、何が必要になるのか確認しておく必要があるだろう。また、事務局の執務室もどれくらいの広さが必要か、大会議室や中会議室の広さ、応接室も現状の部屋は広すぎる印象がある。関係者からの意見を把握したうえで設計に進んだ

方が良い。

（瀬戸委員長）まずは議員総会で承認を頂く事で一步前に進める事ができるように思う。答申後に設計業者の決め方等について検討する必要があるが、設計業者の選定までが本年度の当面の目標と言って良いであろう。

最後に、引き続いての協力方を委員長よりお願いし、会議を終了した。

（9時50分）